

協会ニュース

平成 23 年 11 月 4 日

中国地区品質経営協会
広島市西区横川町 3 丁目 5 番 9 号(世良ビル 404 号)
TEL(082)532-6844 FAX(082)532-6845
e-mail; qmac@a1.mbn.or.jp
URL; http://qmac.jp/

平成 23 年度 第 2 回シンポジウム「モノづくりマネジメント技術革新」

- ◆ 開催日時： 平成 23 年 11 月 4 日(金) 13:30~17:00
- ◆ 会 場： 広島商工会議所 101 会議室 (広島市中区)
- ◆ 参加者： 20 社 122 名

革新的次世代技術と最先端技術の追求をキーワードに日本の「モノづくりマネジメント技術革新」に関するシンポジウムが、平成 23 年 11 月 4 日に広島商工会議所において 122 名という多数の参加者のもと盛大に開催されました。

最初にマツダ株式会社 パワートレイン開発部部長の木原龍博氏から「SKYACTIV 制御技術」と題して御講演いただきました。『走る歓び』と『優れた環境・安全性能』を提供するための究極の内燃機関を支える制御技術開発への取り組みやそれらの最先端技術を開発する開発プロセスの革新など大変興味深い内容でした。

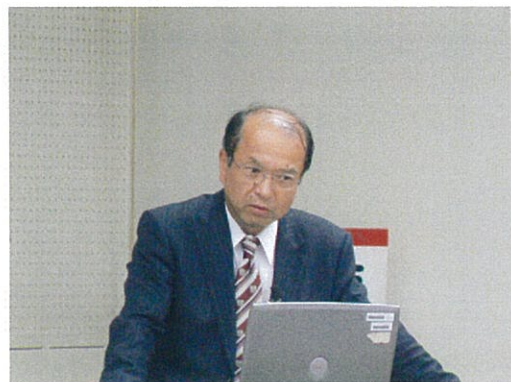
続いて株式会社ディスコ 広島総務グループリーダーの川崎光彦氏から「高度な Kiru Kezuru Migaku」と題して御講演いただきました。切る・削る・磨くというコア技術の深化により半導体加工装置で世界 70% のシェアを獲得された技術開発力は勿論のこと、それを達成するため全社を挙げて PIM と称するマネジメント手法を活用して継続的に取り組まれて成果を挙げておられることなど大変参考になるお話でした。

御講演の後、広島大学大学院工学研究科教授の高橋勝彦氏の総合司会により参加者と講演者との総合質疑応答を行いました。参加者からは多くの質問が寄せられ、高橋先生の解説も加わって講演者が回答することで講演内容がより分かり易くなりました。

講演会終了後、参加者の方々からは御講演いただいた内容で理解できなかったところが理解できたとか刺激を受けましたなど多くの御意見をいただき、非常に有意義なシンポジウムとなりました。



マツダ株式会社 木原龍博氏



株式会社ディスコ 川崎光彦氏



広島大学 高橋勝彦教授



パネル討論の様子